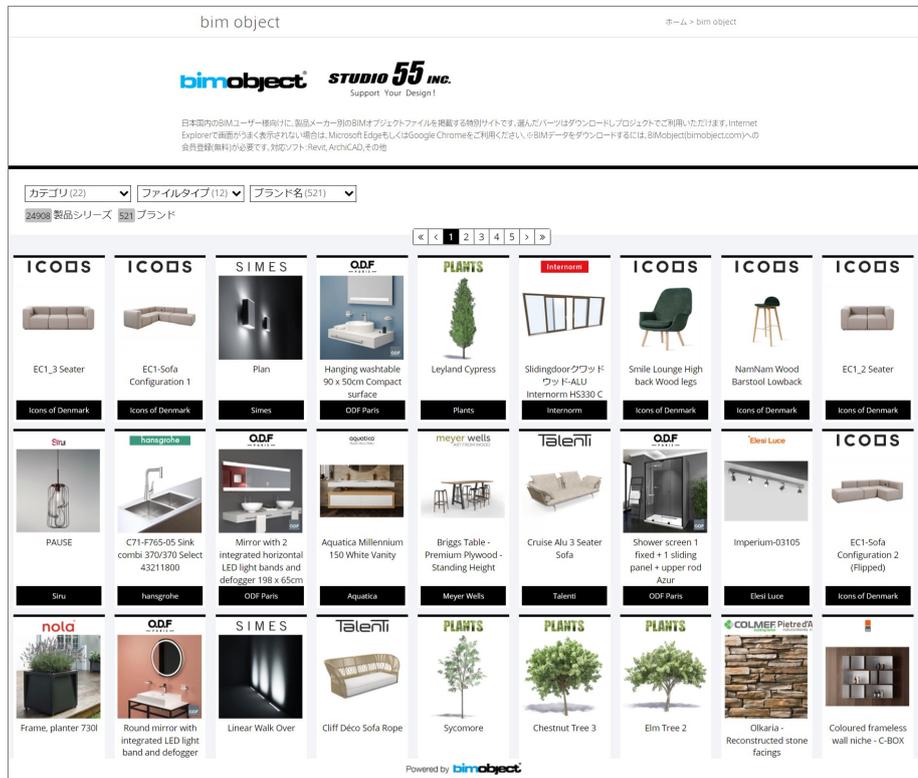


## BIMobject Japan と STUDIO55 が協業 建材・設備・家具のデジタルコンテンツ開発を加速 ～設計ユーザー・メーカーの DX を支援～



■本協業により公開された、メーカーオブジェクトの無料ダウンロードページ ([https://studio55.co.jp/bim\\_object.html](https://studio55.co.jp/bim_object.html))

野原グループで 3D デジタルコンテンツのプラットフォーム事業を行う BIMobject Japan 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：東政宏）と、3DCG 事業や BIM 導入支援事業などを展開する株式会社 STUDIO55（本社：東京都渋谷区、代表取締役：木村光希）は、2021年7月から、建材、設備、家具メーカー（以下、メーカー）製品の建設プロジェクト向けデジタルコンテンツ（以下、メーカーオブジェクト）開発等を主な内容とする協業を開始します。

国が主導する DX 推進施策等により、業界内はデジタル化の気運が高まり、BIM<sup>ii</sup>を始めとするデジタル技術は普及段階に入ったと言われています。デジタル技術を活用した事業効率化および建設プロジェクトでのビジュアライズのニーズはなお一層の需要増が見込まれています。

私たちは、本協業により、メーカーと設計士などの BIM ユーザーのデジタルトランスフォーメーション推進（以下、DX 推進）を支援し、建設業界全体の生産性向上を目指します。

### －主な協業内容－

メーカー向け	メーカーオブジェクト開発サービスを通し、メーカーのデジタル活用とスペックイン活動（最小コストでの売上・利益獲得）を支援 ※開発依頼は、STUDIO55 および BIMobject Japan の両社で承ります。
BIM ユーザー向け	仮想空間技術 (XR) <sup>iii</sup> から建設プロジェクトまで目的別に幅広い用途で利用可能なメーカーオブジェクトを無料ダウンロードできる特設ページを 2021年7月27日に STUDIO55 のウェブサイト内に開設し、施主へのプレゼンや製図作業の業務効率化を促進 【STUDIO55×BIMobject Japan 特設ページ】 <a href="https://studio55.co.jp/bim_object.html">https://studio55.co.jp/bim_object.html</a>

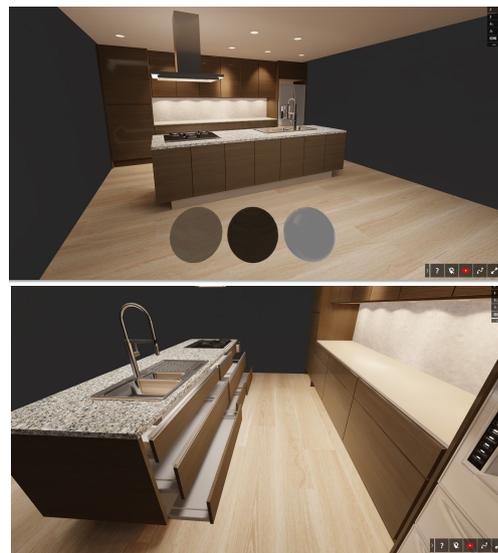
## 建設プロジェクトにおけるメーカーオブジェクトの重要性について

デジタルコンテンツ、とくに BIM を使った建設プロジェクトでは、設計の初期段階で詳細内容が決定します<sup>iv</sup>。

私たちは、メーカーオブジェクトの重要性を次の通り考えています。本協業により、国産のメーカーオブジェクトの流通量を増やし、建設業界の生産性向上とデジタル化、DX 推進をこれまでになく加速させます。

### －メーカーオブジェクトの重要性－

メーカー	自社のメーカーオブジェクトをデジタル上に流通させ BIM 設計に組み込まれることで効率的に販売活動が実施できます。
BIM ユーザー	メーカーオブジェクトを利用することで建設プロジェクトのコスト管理や建材の仕様調査を効率的に進行できます。



■CGによるキッチン設備のイメージ

## 株式会社 STUDIO55 について

株式会社 STUDIO55 は、“Support Your Design” の企業理念のもと、BIM コンテンツ開発や CG 事業、BIM 導入支援、CG・XR を用いたプレゼンテーション・デザインサポートなど幅広く事業展開しています。日本・中国・ミャンマー・ベトナム・ボリビアなどにおけるオフショア開発（オフショアチーム：386名）により、組織的で充実した 3D/BIM コンテンツ制作体制を構築しています。視覚効果の高い 3D コンテンツ開発からエンジニアの要望に応える BIM コンテンツ開発まで柔軟かつ高度に対応します。

▼STUDIO55 ホームページ

<https://studio55.co.jp/>

**STUDIO 55 INC.**

## BIMObject Japan 株式会社について

建材商社である野原ホールディングスと、BIM コンテンツプラットフォーム「BIMObject® Cloud」を世界的規模で展開する BIMObjectAB（Malmö Sweden）が 2017 年 12 月 27 日付で設立した、BIM の国内向けサービス会社です。

弊社が運営する「BIMObject® Cloud」は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品の 3D デジタルコンテンツを始めとするあらゆる情報/データを掲載する世界最大のプラットフォームです。メーカーにとっては自社製品をグローバルに発信する場になっています。様々なサイトやソリューションとも幅広く連携できる他、全てを一括管理できる高機能なデータ管理システムとしての側面も持っています。設計者にとってはメーカー監修のオブジェクトデータを無料で入手できる場となっています。

▼3D デジタルコンテンツプラットフォーム「BIMObject® Cloud」

<https://www.bimobject.com/ja/product>

**bimobject®**

## 野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、建設業界を中心に建材や鉄鋼関連、セメントなどの資材販売、道路交通標識などの販売・施工を通して事業を拡大してまいりました。

私たちは、ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

▼ウェブサイト

<https://nohara-inc.co.jp>

**NOHARA**  
Link ideas. Build future.  
思いをつなげ、未来をつくる。

## 問合せ先

---

### 【本件に関するお客さまからの問合せ先】

株式会社 STUDIO055

東京営業推進部（担当：本田 託也）

E-Mail：[honda@studio-gogo.com](mailto:honda@studio-gogo.com)

TEL：03-6277-3793/FAX：03-6277-3794

野原ホールディングス株式会社

建設 DX 推進統括部 VDC 事業開発部（担当：原田、能勢）

E-Mail：[japan@bimobject.com](mailto:japan@bimobject.com)

### 【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社

経営企画部（担当：齋藤）

E-Mail：[nhrpreso@nohara-inc.co.jp](mailto:nhrpreso@nohara-inc.co.jp)

TEL：03-6328-1576

- 
- i オブジェクト作成は、メーカーからの依頼をうけ STUDIO055 にて作成、メーカーに納品後、BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject® Cloud」に掲載します。
  - ii BIM は、形状や仕様・価格などの建材設備情報をデジタルデータに集約して、建設プロジェクトの関係者が共有し活用できるソリューションです。BIM を使った建設プロジェクトでは、設計の初期段階で詳細内容が決定します。設備・建材メーカーは、自社のメーカーオブジェクトをデジタル上に流通させ BIM 設計に組み込まれることで効率的に販売活動が実施できます。BIM ユーザーは、メーカーオブジェクトを利用することで建設プロジェクトのコスト管理や建材の仕様調査を効率的に進行できます。
  - iii エクステンデッド・リアリティ（Extended reality、XR）とは、「VR」「AR」「MR」などの総称。VR（仮想現実）は、仮想の世界を現実のように体験できる技術。AR（拡張現実）は、現実の世界に仮想の世界を重ねて体験できる技術。現実世界の映像があり、その上に仮想世界の情報が重なるイメージ。MR（複合現実）は、現実と仮想世界を“融合させる”ことができます。
  - iv 設計初期の段階で合意形成し作業を前倒しすることをフロントローディングと言います。日建連によれば、フロントローディングとは「プロジェクトの早い段階で建築主のニーズをとりこみ、設計段階から建築主・設計者・施工者が三位一体でモノ決め（合意形成）を進め、後工程の手待ち・手戻りや手直しを減らすことにより、全体の業務量を削減し、適正な品質・コスト・工期をつくり込むこと」と定義されています。